

看護部組織における主任看護師の活用に向けた取り組み

奈良県立医科大学附属病院 堀口 陽子

【実践の概要】

主任看護師は看護実践の要であり、看護業務の質向上、看護スタッフへの教育に果たす役割は大きい。当院には 51 名の主任看護師がおり、所属における複数配置が進んだ。しかし、看護主任としての役割の発揮には個人差がある。その要因として、主任看護師の主体性育成の不十分さが考えられた。そこで教育担当副部長として、新人看護職員の教育担当者である主任看護師に対する研修会開催を軸に主体性育成に対する取り組みを行い、主任看護師自身による主体的な運営活動をめざした。

しかし、主任看護師の所属における役割分担が様々で、看護部組織における主任看護師の活用の不十分さが浮かび上がった。そこで、複数主任配置所属における役割の現状把握を行った。また、主任看護師業をもとに主任のあるべき姿と業務内容を明確にし、所属での主任看護師の役割分担の統一に向けた活動を行った。

【背景】

当院において、平成 22 年度から導入された 7 対 1 看護配置で、病棟における二人主任看護師配置が進み、複数配置をしている部署は 13/17 部署となった。主任看護師（以下主任とする）は看護実践の要であり、所属における影響力は大きい。しかし、複数の主任をどのように組織運営に活用するかという認識はまちまちであった。私は今年度より、教育担当副看護部長となった。新人看護職員研修ガイドラインにそって教育責任者となり、新人看護師教育担当者研修を 30 人の主任看護師を対象に新たに開催した。その研修会を通して、主任の主体的な活動を推進する目的で実践活動に取り組んだ。

【実践計画】

1. 新人教育担当者の役割を果たす中で、主任としての主体性を育成する。
2. 主任看護師業務記述をもとに、主任のあるべき姿を明確にする。

【結果】

1-1) 新人看護師教育担当者研修

11 月に新人看護師教育担当者研修（以下、教育担当者研修とする）を開催した。受講者から研修の必要性は確認された。しかし研修企画に関しては、業務量が多く負担だという意見であった。そこで、主任として求められる取り組みといえるのかを再度投げかけ、再び意見交換を行った。その結果、「自分たちで企画するのが望ましい」との意見となり、4 名の担当者を立候補で決定した。

1-2) 師長会への報告

研修結果の報告で、各師長の「教育担当者」の認識の違いが明らかになった。その状況での教育担当者研修企画者の決定は認められず、再度検討することとなった。

2. 主任看護師業務記述をもとに、主任のあるべき姿を明確にする。

教育担当者研修終了後アンケートから、受講したほとんどの主任（22 人/25 人中）は主

任としてのあるべき姿を持ち活動していることが分かった。主任のあるべき姿は、看護部運営会議において共有できた。

3. 実践計画修正

上記1の経過から、所属の現状を十分理解せず、主任役割が不明確な状況の中で、自分の思いだけで研修企画を行うことは、混乱を招くだけであった。そこで、再度現状把握に努めた。

1) 病棟における主任業務の役割分担

平成23年9月に師長と主任を対象として、二人主任体制所属における役割分担についての調査がされていた。その結果から、大きく①業務と教育、②新人教育と現任教育、の分担の仕方があった。また一部ではあるが、役割分担に対する認識が師長と主任では差がある所属も存在した。

2) 主任看護師業務記述（看護基準）の認識状況

主任業務記述の存在を知らない主任もあり、認識は不十分であった。業務記述を知る機会は、主任昇格時の副部長からの説明がほとんどであった。また、説明を受けていない主任も存在した。

4. 修正後の実践

1) 組織における主任看護師役割の明確化

主任の複数配置所属における、役割を分け各役割を成文化する（検討継続中）。

2) 看護部各種委員会における主任の活用

教育担当者委員会を位置づけ、教育担当者に向けた研修を企画する。

各委員会に参加する主任を増やし、看護部組織運営の推進的役割を果たす。

【評価および今後の課題】

今回計画通りに実践できなかった要因は、「新人教育担当者」という用語の定義が不明確であり、さらに所属における主任役割も不統一であったことがあげられる。看護部組織において変化をもたらすためには、現状を十分把握するとともに、教育担当者としての考えを成文化し、承認されるというプロセスが不足していた。また今回の実践を通して、主任の責任と権限を伝え役割を発揮できる環境を整えることが主体性を育むことにつながると実感できた。今後、1. あるべき主任像と主任看護師役割が、看護部内で理解され承認される。2. 看護部委員会に、教育担当主任委員会を位置づける。3. 病棟における二人主任の役割分担を明確にする。が課題である。